

令和7年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和7年12月10日（水） 13時30分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立浜北北部中学校 尽力ホール
3. 出席委員 山本忠雄 河合貴幸 馬塚孝雅（学校支援CD） 鈴木貴子 小西雅子
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 細川恭由（中瀬協働センター）
6. 学校支援コーディネーター（委員外） 岡本奈緒（兼CSディレクター）※欠席
7. 学 校 中野有哉（校長） 松島 歩（教頭） 永田大介（教務主任）
石島正巳 市川智也（CS担当教員）
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 石島正巳
10. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

(1) 生徒会との交流

- ・自己紹介
- ・生徒会活動報告
- ・意見交換

(2) 生徒会との意見交換を受けてもまとめ

12. 会議記録

司会の教頭より、委員総数5名のうち5名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

本日の協議についての説明（生徒会役員さんたちとの交流）

山本会長：本日の議題は、生徒会役員との交流が唯一の内容であります。

交流の流れとしては、まず、生徒会役員に志願した理由（きっかけ）を中心として、生徒さんに自己紹介をしていただきます。

次に、運営協議会委員の自己紹介を行います。委員は、生徒と学校全体への応援団であり、生徒のやりたいことや困っていることの解決に協力したいという思いを伝え、本音の意見を聞くことをお願いいたします。

I. 徒会役員の自己紹介（志願理由と活動目標）

守屋生徒会長：浜北部中の絆、人との繋がりを深めるため立候補しました。団体対抗レクリエーションなどを通して、絆が高まっていると皆が実感できる学校にしたいと思います。

誰でも簡単にできることを中心に学校生活や行事を良くしていきたいと考えています。

田光副会長：人に頼られたり、人のために何かをしたりすることが好きな性格なので立候補しました。生徒一人ひとりが学校に来ることが楽しいと思える環境作りを目指しています。生徒の声によく耳を傾け、適切な判断ができるように努めていきたいと思います。

小田副会長：挨拶が増えること、多くの人に同時に参加してもらいたい行事を盛り上げたいと思い立候補しました。みんなが居心地のいい学校を作りたいと思います。放送などで宣伝活動を積極的に行っていきたいと思います。

高林書記：兄が生徒会に携わっており、兄のように学校に貢献したいと思い、生徒会に参加しました。北部中を、明るく活気のある快適な学校にしたいと思います。学校生活や行事の中で様々なアイデアを出すように工夫しています。

植田書記：これまでの学級員の経験を活かし、学校のために尽力したいと思いました。学年や性別を超えた人との繋がりがある温かい雰囲気の学校にしたいと思います。周りの様子を見て、仲間と協力しながら改善し、みんなで成し遂げることを大切にしています。

鈴木専門部長：前期の生徒会の先輩が生き生きと思うに活動していたのでやってみたいと思いました。生徒会活動を通して人と人が繋がる仲の良い学校を作りたいと思います。

岩田専門部長：先輩たちが学校生活を少しでも楽しくなるようにと色々な活動をしているのを見て自分もこの学校のために何かできることをしたいと思いました。生徒会活動を通して年を超えてニケーションが繋がれる学校にしたいと思います。

II. 生徒会役員の活動方針と目標

守屋生徒会長：生徒会役員は、「一人ではなくみんなで成し遂げること」を大切にし、活動を通して「人と人が繋がる仲の良い学校」を作ることを目指しています。

後期生徒会が掲げたスローガンは「絆：人と人が繋がる北部中」であり、学校内で絆を深め、実感できる環境づくりを目標としています。生徒の意見を確認し、学校生活や校則をより良くするため、顔を見て話し合いをすることを通じて団結力や絆を深めたいと考えています。

III. 生徒会活動の報告

① 前期に実施された主な活動（振り返り）

- ・古本市場：生徒が持ち寄った本を交換し、賑わいを見せました。
- ・アクアリウムプロジェクト：目標や夢などを書き、クラスでまとめて掲示しました。
- ・貸し傘：天候急変時の下校時などに傘を貸し出す活動。

※後期は利用者が一定であるなどの理由から休止された。)

- ・団体レクリエーション：ドッジボールやクイズなどを縦割りの団ごとに行いました。
- ・ルミ缶回収：月に一度、本部と委員会が共同で実施しています。

②後期に計画・実施中の活動

- ・ルミ缶回収：毎月1回実施し、各委員会と共同で縦割りの段ごとに個数を競い合っています。回収目的は、集まったアルミ缶を換金し、学校の設備や備品を充実させることです。
- ・あいさつ運動：毎月3日間、他の委員会と共同で実施しています。人とのつながりには挨拶が不可欠であり、生徒会役員を中心にあいさつの量を増やし、学校全体で明るい雰囲気を作り、絆を深めることを目的にしています。

※議論の中で、地域住民にも協力を仰ぎあいさつ運動の輪を広げたいという要望が出された。

- ・フォトコンテスト：今年から開始する新しい活動です。タブレットを活用し、校内で最も綺麗な写真を決めます。優秀作品は中央廊下に掲示したり、撮影者を放送で紹介したりします。この活動は、友達と協力・競い合うことで絆を深めること、思い出作りに役立てること

を目的としています。

※審査員は公平性を期すため生徒会メンバーが行う予定です。

- ・団対抗レクリエーション：縦割り学年（団）ごとに力を合わせて競い、団結力を深めることを狙いとしています。前期はドッジボールなどが行われ、後期は生徒の意見を取り入れながら、今年度体育祭種目になかった綱引きなどを、昼休みを利用して行う予定です。
- ・タブレット意見箱：生徒が自分のタブレットから意見を気軽に出来るようにしたものです。生徒の意見を活動に生かし、学校をより良いものにする目的があります。

IV. 意見交換と協力依頼

①活動期間の課題

後期生徒会がスタートしてから約 2 ヶ月半が経過し、冬休みや春休みを考慮すると実質的な活動期間が 4~5 ヶ月しかないため、時間はあつという間に過ぎるとの指摘が学校運営協議会委員よりありました。生徒会だけで悩まず、他の委員会（生活委員会、保健委員会など）も巻き込み、協力し合って活動の幅を広げることが推奨されました。

②学習ボランティアへの感謝

生徒会役員から、学習ボランティアの協力に深く感謝の意が示されました。特に、家庭科（裁縫や調理）や書写など、苦手な生徒が多い分野で細かく教えてもらえることで、生徒の悩みが解消され、授業の活発化や生徒の自信につながっていることが説明されました。

③あいさつ運動への協力依頼

生徒会より、地域の人々にもあいさつ運動に参加してもらうことで、生徒と地域住民の絆を深めたいという協力の要請がありました。

- ・活動日時：毎月第 4 週の火・水曜日。
- ・時間帯：7:45 AM から 8:00 AM の 15 分間。

V. 運営協議会側からの評価と対応

運営協議会メンバーは、生徒会の活動テーマ（絆）が明確であり、具体的な活動内容が身近で素晴らしいと評価しました。

生徒会からのあいさつ運動への協力要請を前向きに捉え、具体的な協力日程を決定しました。

- ・協力予定日：12 月 19 日（終業式）および 1 月 6 日（始業式）。
- ・時間：7:40 AM から。
- ・（※これらの協力は強制ではなく、都合がつく委員で参加することが確認されました）

第 3 回学校運営協議会は閉会し、次回（第 4 回）の学校運営協議会は、2 月 6 日（金）に開催される予定であることが連絡されました。また、令和 7 年度の自己評価提出期限が 1 月 6 日（始業式）であることが確認されました。